

2030年に向けての備え ～DXへの取り組み～

新たな年を迎え、企業経営者の方々には、自社の事業目標や経営課題への取り組みに決意を新たにされていることでしょう。多くの中小企業経営者の方々が、中長期的な視点に立った時、避けて通れない課題の一つに、デジタルトランスフォーメーション(DX)への取り組みがあります。

今回の新型コロナウイルス感染症の災禍の中で、多くの企業がテレワークやWeb会議等を実施したことで、既存の顧客接点のありようや業務プロセスが抱える様々な問題点が浮き彫りとなってきました。これまで導入を躊躇ってきた企業にとっても、競争力を維持向上させていくためにはDXへの取り組みは必須です。それは単に業務の効率化を図るという次元に留まる話ではありません。デジタル技術を活用して自社のビジネスプロセス自体を変革し、新たなビジネスモデルを生み出していくには、人材や組織自体を変革していく必要があります。

157号では、「2030年に向けての備え～DXへの取組み～」と題した特集を組み、3本の論文を取り上げました。

DX時代に必要な 新たな経営アプローチ:俯瞰経営

白坂 成功

01 ●

DXで遅れ気味の日本、 2030年を見据えて変革に動こう ～DXは一過性の施策ではなく、 長い変革の旅路である～

田口 潤

02 ●

DXの時代に必要とされる人材

神岡 太郎

03 ●